

ふれあいネットワーク

社協 だより じょうえつ

Contents

- 特集「権利」ってなあに？
「権利を守る」ってどういうこと？…②
- 平成29年度 赤い羽根共同募金運動のご報告…④
- 住民福祉会リポート…⑤
- 善意の寄付に感謝を込めて…⑥
- 地域でキラリ！…⑦
- 平成29年度 上越市社会福祉大会…⑧



浦川原地区
民生委員児童委員協議会



上越市 家族会



第7地区
民生委員児童委員協議会



板倉区 オレンジカフェ



大島老人クラブ連合会



頸北地区
居宅介護支援事業所



三和区 親和会

めぐりんがらの一言！



柿崎区
老人クラブ連合会



名立区 いきいきサロン

ふ だんの
く らしを
し あわせに



上越市社協マスコット
キャラクター「めぐりん」

権利を守る事業や制度について学ぶ、出前講座の様子です。参加された方からは、「権利擁護って、そういう意味なんだ〜。」「権利を守る仕組みって、大事なんだね。」といった声が聞かれています。

権利を守るための
“出前講座”を
やってます！

「権利」ってなあに？「権利を守る」ってどういうこと？

一人ひとりが、人間らしい生活をするための大切な権利のひとつに「人権」があります。例えば、好きな服を着ること、自由に学ぶこと、病気になったら医療を受けることなど「あたりまえ」だと思われていることばかりです。

しかし、年齢を重ねることにより物忘れが多くなったり、物事を判断する力が衰えたりすると、こうしたあたりまえの権利を自分で守ることが難しい場合があります。知的障がいや精神障がいなどにより、自分で自らのことを決めることが難しい方も少なくありません。

権利を守り、住み慣れた地域で自分らしい生活を送るための事業や制度を広く知っていただき、活用してほしいという想いで、上越市社会福祉協議会は様々な取組を行っています。



楽しく、わかりやすい講座をお届けしています。
5名以上での申し込みがあれば上越市内どこへでも無料で出前します。

初級編Ⅰ 権利擁護マンガ

「田中さん物語」「とおるさん物語」



大きなスクリーンを使って、日常生活自立支援事業や成年後見制度についてわかりやすく説明します。

とおるさん物語

上越市社会福祉協議会

初めて聞くことばかりでした。早めの対応が必要と感じました。



初級編Ⅱ ○×クイズ

「成年後見制度～どんな人が使うの？～」

「物忘れがひどく、財布を取られた！と言って人を疑う一人暮らしのおばあちゃんは、制度を使う？使わない？」クイズと一緒に考えましょう。

成年後見制度
～どんな人が使うの？編～



もの忘れがひどく、「財布を取られた！」と言って人を疑う一人暮らしのおばあちゃん



改めて他人ごとではないと感じました。



中級編 ワークカード

「成年後見人は何をしてくれる人？」

成年後見人がいればもう安心！？いえいえ、成年後見人にもできないことがあります。その役割をみんなで話し合いながら考えます。

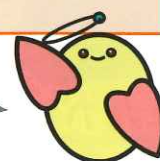


後見人ができる事できない事…できない事が多くてびっくりしました。

「2年間で37回開催、延べ679名の方から受講いただきました。」

- ・民生委員児童委員（10回）
- ・老人会（5回）
- ・認知症カフェ（7回）
- ・ケアマネージャー（5回）
- ・施設職員（3回）
- ・家族会（3回）
- ・高齢者サロン（1回）
- ・高校生（1回）
- ・その他地域団体（2回）

30年度も引き続き行います。
ぜひお問合せください。



●申込・問合せ先 地域福祉課 権利擁護・生活支援係
☎025-526-1212 FAX025-526-1230

みんなで学んだ ミニ講座



上越市社協オリジナルエンディングノート「わたしノート」を受講者にお配りし、自分の想いや希望などをノートに書いて伝えるために知っておきたい内容をミニ講座として企画・開催しました。



第1回 「知って安心身近な制度 ～成年後見制度～」 平成29年7月29日



馬場秀幸^{ひでゆき}弁護士から、制度の中身や後見人について、わかりやすく教えていただきました。「一人暮らしの高齢者が親族の支援を得られない事例では、信頼できる知人に金銭を管理してもらっていたけれど、ご本人が亡くなった後にその知人が遺族から“多額のお金を着服した！”などと訴えられるケースもあり、成年後見制度を利用していれば、こうした問題は防ぐことができたはず。」など、エピソードを交えての説明に参加された皆さんは聞き入っていました。

成年後見人には高い倫理性と社会性が求められ、人間は弱いものだからこそ権利の乱用がないかチェックする仕組みが必要になるということを学びました。

具体的なお話で、後見人の仕事についてわかりやすく学べました。



第2回 「これだけは知っておきたい遺言・相続」 平成29年9月30日

～自分らしく生き残される者へのメッセージを考える～をサブテーマに、上越公証役場の長谷川^{ひこいち}彦市公証人からお話いただきました。

相続制度の基本、遺言を残すことの意味、何のためにその制度が必要なのか、を実体験を交えながら、分かりやすく伝えていただくことで、残される家族に対し、『わたし（自分）が今、何を準備しておく必要があるのか。』を考える機会になりました。



楽しく、ためになるお話でした。事前に準備できることを考えたいと思います。

第3回 「いざという時あわてない ～医療について～」 平成29年12月2日



誰もが「自宅などの住み慣れた場所で穏やかに最期を迎えたい。」と望むなかで、わたしたちはどんな準備をしたらよいのでしょうか。

新潟県立看護大学の原^{なわら}等子准教授から、「私の生き方、人生の終い^{しま}かた」と題し、どう生きたいか、どのような治療を望むのかなど、大切な誰かと想いを共有しておくことの大切さや緩和ケア、延命措置についても学びました。

自分らしく生きることについて考えるよい機会でした。



第4回 「今さら聞けない介護保険制度」 平成30年2月17日

介護保険サービスの利用方法や費用負担、介護予防の仕組みなどについて名立地域包括支援センターの紫竹^{あきひろ}明彦社会福祉士からお話いただきました。

「地域包括支援センター」は、介護のことだけでなく、生活の困りごとや権利を守ることなど、高齢者の総合相談窓口になっており、気軽に相談できるところであることを学びました。全4回のミニ講座は、いづれも大盛況のうちに終了しました。



平成30年度もミニ講座を開催します。

詳細は今後の社協だよりでお知らせいたしますので、ぜひお申込みください。

じぶんの町を良くするしくみ

平成29年度 赤い羽根共同募金運動のご報告



「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、昨年10月から12月までの3ヶ月間実施した赤い羽根共同募金運動では、市民の皆さまのあたたかいご支援により、たくさんの善意の募金をいただきました。

運動期間中ご支援いただきました地域の皆さま、学校、事業所、各種団体の皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。



平成29年度
赤い羽根共同募金運動の実績額

31,805,532円

平成29年度の赤い羽根共同募金運動の目標額は**32,465,000円**でした。
目標額に対する実績額の達成率は、**98.0%**となりました。



・合併前上越市	14,552,185円	・柿崎区	1,832,502円	・板倉区	1,726,273円
・安塚区	1,039,291円	・大潟区	1,949,905円	・清里区	670,000円
・浦川原区	1,468,298円	・頸城区	1,991,530円	・三和区	1,264,129円
・大島区	689,615円	・吉川区	1,197,666円	・名立区	1,062,564円
・牧区	843,990円	・中郷区	1,517,584円		

皆さまからお寄せいただいた募金は、平成30年度の様々な地域福祉活動に活用されます。

福祉教育推進事業（上越市社会福祉協議会）

市内の小中学校を中心に、福祉の専門職がゲストティーチャーとして講話等を行う特別授業や体験学習などを行います。

このような取組により「お互いを認め、支え合える関係を築ける人」に成長していくことを目指します。

また、企業で働く方や地域の方へ福祉の講座や講話等を行い、上越市に暮らす全ての方々が福祉に関心を持ち、参画する地域となるよう取り組みます。



このほかにも、下記の活動等に活用されます。

- ・「ふれあいいきいきサロン」や「ふれあい支え合いマップづくり」等の地域福祉活動
- ・「おもちゃ病院」や「ボランティア連絡協議会」等のボランティア活動
- ・新潟県全域のボランティア活動や民間NPO等の支援 等



12月2日 稲田小区青少年体験活動での福祉教育の様子

赤い羽根共同募金ホームページ「赤い羽根データベースはねっと」赤い羽根募金の様々な情報を公開しております。

(<http://www.akaihane.or.jp/>)



住民福祉社会レポート モデル地区での福祉活動が進められています。

住民福祉社会のモデル地区として今年度から住民主体の福祉活動に取り組んでいる3地区では、当初の計画どおり独自の事業が展開され、地域の皆さまの福祉に対する意識や関心が徐々に高まってきています。

今月でモデル期間2年間の1年目が終了となり、各地区ではこれまでの取り組みを検証して、平成30年度の事業計画の検討が行われます。今回も各地区で実施された福祉活動を紹介します。

諏訪区 住民福祉社会 諏訪の里づくり協議会

住民意識アンケート調査



生活上の心配ごとや困りごとなどを把握し、課題を解決するための取り組みを進めるため、10月1日に全世帯へアンケートを配布し、住民の意識調査を行いました。

83%の回収率となり、「声がけや安否確認」、「災害時の避難支援」、「玄関先の除雪」、「話し相手や相談相手がほしい」、「通院や買い物」などの要望を把握することができました。

このアンケート結果から具体的な事業展開を検討し、平成30年度の新たな取り組みとして計画していきます。



中郷区 住民福祉社会 中郷区まちづくり振興会

福祉学習会

中郷小学校6年生を対象に福祉の学習として「認知症サポーター養成講座」を開催しました。区内の高齢化が進む中、子どもたちが認知症を病気として理解し、その接し方などを学び、地域での見守りや声がけなど子どもたちを含めた地域ぐるみの支援が広がることを期待しています。



一番大切な基本は、相手を思いやる心ということも学びました。

認知症の人も支えてあげられるのは、身近にいる人なんだなと分かりました。

私達も温かい目で見守る「おうえん者」になりたいと思います。

生徒の声



第4回「オーナメント（飾りかけ）づくりとクリスマスパーティー」

親子福祉セミナー

教育の出発点となる家庭における親子の絆を深めるため、8月から11月にかけて全4回の親子福祉セミナーを開催しました。

親が子どもとゆっくりコミュニケーションをとることができる場をつくることで、子どもたちは親の愛情を感じながら、自分は認められているという気持ちが高まったと思います。

こうした取り組みにより、子どもたちが「自分を大切にでき、他人も大切にできる」人間になってもらえればと思っています。

名立区 住民福祉社会

福祉の名立づくりフェスタ



11月18日に名立区公民館で、「みんなでフェスタ（まつり）を楽しもう！」をテーマに、福祉フェスタを開催しました。

福祉講話や健康体操、椿寿苑職員によるハンドベル演奏が行われ、最後は地元の劇団サークル「いろり座」による、「元気で充実した余生の過ごし方」をテーマにした演劇を楽しみました。

多くの方が自分事として熱心に観劇され、大盛況のうちに終了となりました。

名立区スポーツ交流会



障がいのある方の健康増進と孤立・引きこもりの予防などを目的とし、気軽にできるスポーツを通じて交流を図る「スポーツ交流会」を10月12日に実施しました。

地域の高齢者も参加し、輪投げ、ポケットボール、スカットボール、玉入れの4種目を行い、みんなで声をかけあって楽しい時間を過ごすことができました。

善意の寄付に感謝を込めて…

平成29年9月1日から

平成30年1月31日まで

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご浄財を社会福祉に使用させていただきます。
大変ありがとうございました（寄付金額1万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略）。

社会福祉事業のために

●本所

しんさん春日グリーンクラブ 52,186円
NOC新潟県お見合いセンター上越 支援金
株式会社ユアテック上越営業所 支援金
有田趣味の家 支援金
高田聖書教会 10,000円
上教大附属図書館ミニ古本市有志 支援金
JAえちご上越直江津地区農協まつり 11,400円
木田新田ゲートボール 10,000円
新潟県社交飲食生活衛生同業組合 70,000円
上越友の会 10,000円
三菱ケミカルMC労働組合東京・地区支部 31,721円
鴨島1丁目老人会いきいきクラブ 14,020円
匿名 20,000円
匿名 20,000円
高士ひとふさの会 支援金
五智1丁目町内会、五智1丁目ふれあいの会 支援金

●安塚支所

やすらぎ荘
岩野光弘 10,000円
匿名 10,000円
やすづか学園
秋山正道、杉みき子、菅野千秋、丸田弘
新潟県教職員組合上越支部、岡武夫
松本咲子、中村修治、頸城水道株式会社 支援金
頸城水道株式会社 100,000円

●柿崎支所

柿崎商工会女性部 40,000円
町の音楽家 10,000円
県立久比岐高等学校PTA 17,680円
直海浜町内会 支援金
上越市柿崎区産業まつり実行委員会 支援金

●大潟支所

大潟ゴルフ同好会（犀潟） 30,000円
愛音の会 18,180円

●頸城支所

頸城茶道クラブ 支援金
JAえちご上越頸城支店 支援金
井澤ハツ子 50,000円

●吉川支所

I・Y（原之町） 470,155円

●清里支所

笠尾カウ子（上深澤） 50,000円
笹川栄一（武士） 支援金

●板倉支所

曹洞宗新潟県第三宗務所青年会 17,312円

●名立支所

発心会 20,000円
JAえちご上越名立支店協同活動委員会 支援金

物 品

●本所

金勝勝治（中門前） アルミ缶プルトップ1kg
高田理容組合女性部 使用済みタオル多数
中原桂一 お米300kg
春日新田七福会 雑巾57枚
和会 タオル225名
直江津理容組合 タオル112枚
農事組合法人龍水みなみがた お米180kg
小町いずみ会 オムツ（テープ式）80枚、
リハビリパンツ30枚他多数
木楽会 牛乳パック製アイス他多数
小出孝一郎 肌着10枚他多数
塚田健治 クリミール15本、
エンシュアリキッド22本他多数
藤澤史 お米90kg
原之町商店街組合 タオル多数
池田健二 ゆず15kg
市川勢治 電動ベッド1台、ストーブ1台他
高田たばこ販売協同組合 タオル類4箱
内山恭兵 オムツ7袋
町井裕二 碁盤碁石1セット
UDトラックス新潟株式会社上越支店
カレンダー33本

●安塚支所

匿名 玄米30kg
大西秀子 掛け布団、茶器1式
滝沢文明 パット5袋、オムツ1袋他
デイホーム有田
市村ハルノ 車椅子1台、尿取りパット等4袋
春日山荘
金子純子 華道具、茶道具一式

●安塚支所

やすらぎ荘
安塚商工会女性部 雑巾111枚
県立高田高校安塚分校生徒会 タオル42本
有限会社内山商会 タイヤ止め15組
和栗信利 野菜多数
新保信雄 紙オムツ・パット6袋
やすづか学園
小林福夫 お米6俵

●蒲川原支所

匿名 全自動血圧計、マッサージ機他多数

●柿崎支所

ふれんどり〜ミルはまなす
二ノ倉政勝（木田新田） 空缶プルトップ850g

●大潟支所

渋柿浜百済クラブ タオル45本
やすらぎの家へ
熊木真人 紙パンツ12袋
タキヤ理容所南雲義美 業務用洗剤2箱

●頸城支所

宮澤敏彦 トロミ剤1箱、紙パンツ2袋他
佐藤マサ子 パジャマ1枚、紙オムツ3袋他
山田政雄 シャンプー・リンス他多数
くびきの里へ
小島明（西福島） オムツ7袋

●吉川支所

吉村雅夫
リハビリパンツ、尿取りパット 計4袋
原之町商店街組合 タオル多数
金子初枝 毛糸、タオル
吉川商工会女性部 タオル62本

ほほ笑よしかわの里

吉田秋芳 紙オムツ2袋、尿取りパット4袋
古川悦子 野菜、オムツ2袋
高橋洋一 ポータブルトイレ1台
あじさいの家
匿名 シーツ、バスタオル、フェイスタオル多数

●板倉支所

ふれあい工房
株式会社アーコニックジャパン アルミ缶多数
有限会社グリーンファーム清里 切り餅
有限会社穂海農耕 米ぬか

●三和支所

すいせんの里
木島政子 紙パンツ62枚、尿取りパット30枚
竹内義夫 紙オムツ33枚、
リハビリパンツ32枚他

●名立支所

椿寿苑
室橋 弘 紙オムツ3袋、紙パンツ2袋
高橋五右衛門
雛人形、クリスマスツリー各1セット

使用済切手

三郷郵便局、(株)カタギリ設備、黒岩憲子、(有)渡辺工務店、(株)滝田、(株)MARUWA、田辺工業(株)電力事業部、浦川原中学校、上野トミ、城西保育園、北諏訪地区公民館利用者一同、木楽会倉林廣巳、旭郵便局、上越信用金庫事務部、柿崎郵便局、大和ハウス工業(株)、市川美佐子、丸山勝、犀潟郵便局、直江津郵便局、徳永昭二、パナソニック・タワー・ジャズセミコンダクター(株)、廣瀬良子、川崎美喜子、コニカミノルタNC(株)、(株)扇屋、(株)大島組、大潟商工会、上越八幡郵便局、新潟県立上越特別支援学校、第9地区民生児童委員協議会、保倉地区民生児童委員会長山岸功、CPサービス、上教大附属図書館ミニ古本市有志、エフビー介護サービス(株)、大越一也、上越市第7地区民生委員児童委員協議会、有終福寿会、黒木クリニック、古川和代、サノヤ商事(株)、(株)バーツプロダクションかなえる旅行社、直江津有田郵便局、日朝寺、合資会社増屋商店、古越智秀、ワタナベ美容室、さくら聖母の園、賛光電器上越(株)、割烹大善、リそら整体院、高田子どもの本の会、(株)関原工業所、一般財団法人上越環境科学センター、公益財団法人上越勤労者福祉サービスセンター、高田たばこ組合女性部、(株)ITEC、寺町三丁目婦人会、上越おやこ劇場、保護司会、鴨島1丁目老人会「いきいきクラブ」、相葉英子、下荒浜聖寿会、町井裕二、上越運送(株)、上越シルバー人材センター頸北支所、第4地区民生委員児童委員協議会、新潟県信用組合高田支店、岩井慶子、上越市漁業協同組合、植木良江、仲町六丁目町内会、谷浜郵便局、英語教室ひぐち

活動レポート 地域で キラリ!



川谷もより協議会
会長 曾根 つよし さん

今回は、吉川区の間部部に位置する集落で、地域住民全員で高齢化の状況から脱却し、今後も持続可能な地域づくりを目指す取組を紹介いたします。

吉川区の間部に位置する上川谷、下川谷、石谷、名木山の4集落(旧川谷小学校区)を一括して「川谷もより」と呼んでいます。この25年間で人口は100人近く減り、22戸4人まで激減しました。

4集落がまとまって地域づくりに取り組むべく、平成25年に、住民全員参加型の「川谷もよりの将来をみんなで考える会」(以下「もより会」)を設立しました。

もより会が最初に取り組んだのは、地域おこし協力隊の受け入れでした。当時、まだ上越市での受け入れがなかった協力隊について、十日町市の元協力隊員や受け入れた町内会長さんに来ていただき研修会を開催し、住民の総意で募集にこぎつけることができました。その結果、初代協力隊員が赴任。そして活動を終えて定住し、地域の農業の担い手として頑



あることを胸に、夢に向かって歩を進めていくことだと思っ

張ってくれています。更には、農水省の農村集落活性化支援事業に参加(川谷もより協議会)し、住民全員で話し合いを重ね、地域づくり

ビジョン「百笑百年物語」を策定しました。10年後の夢を一人ひとりが語るところから始まったビジョンは、夢と覚悟がつまった「みんなのビジョン」に仕上がりました。それは1年1人のペースで若者を受け入れながら、仕事づくりと支え合い事業に取り組む、「百姓が百人、百年先も笑って暮らせる村」を目指しているというものです。

昨年には、2代目の協力隊員が赴任。若い移住者夫婦には赤ちゃんが誕生しました。希望のタネがつつみに、花に、ちらほらと育ち始めています。もちろん一人ひとりは年をとります。でも、川谷もよりとしては希望を捨てていません。大切なことは、他人任せにせず自分たちの地域づくりで

インフォメーション(お知らせ) Jouetushisyakyo Information

平成30年度「手話通訳者を目指す人のための手話養成講座」(上越市委託事業)

【手話入門編】

- 日 時 5月12日④～11月3日④の全21回(毎回土曜日) 午後2時～4時
- 対 象 市内在住の18歳～50歳で事前説明会に参加した方
※事前説明会は4月14日④ 午後2時から上越市市民プラザで開催します。(事前説明会の申込み不要)
※事前説明会へ参加した方のみ入門編の受講申込書を配布しますので必ずご参加ください。

【手話基礎編】

平成30年度は実施しませんが平成31年度は入門編を修了した方を対象に実施する予定です。

【手話ステップアップI 講座】

- 日 時 5月25日④～10月26日④の全10回(毎回金曜日) 午後7時～9時
- 対 象 基礎編を修了し手話通訳者を目指す方、且つ手話サークルで活動し上越市ろう協会の行事等に参加協力できる方。(申込者には講師による事前面談を実施する予定です。)
- 申 込 申込書(申込先に請求)と基礎編修了証書(写)を4月24日④までに提出してください。

【共通事項】

- 場 所 上越市市民プラザ
- 申込・問合せ 地域福祉課 (☎025-526-1515 / FAX025-526-1230)

【理事会・評議員会開催報告】 平成29年11月22日に平成29年度第3回理事会、同11月30日に第2回評議員会、平成30年2月6日に第4回理事会を開催し、全ての案件が原案通り可決・承認されました。

第3回理事会及び第2回評議員会議案	
処務規程の変更について(理事会案件)	平成29年度資金収支補正予算について
育児・介護等に関する規程の変更について(理事会案件)	評議員会の招集について(理事会案件)
弔慰規程の変更について(理事会案件)	第4回理事会
役員各種委員会等の費用弁償に関する規程の廃止について(理事会案件)	積立金管理規程の制定について
経理規程の変更について(理事会案件)	財政調整積立基金規程の廃止について
資産運用規程の変更について(理事会案件)	社会福祉基金設置規程の廃止について
会員会費規程の変更について(理事会案件)	役職員等旅費規程の変更について
表彰規程の変更について(理事会案件)	給与規程の変更について
	上越総合福祉センター増築・大規模改造工事に係る入札について

平成29年度 上越市社会福祉大会を開催

平成29年10月28日に「市民交流施設高田公園オーレンプラザ」で、平成29年度上越市社会福祉大会を開催しました。今年度は、(株)新潟日報社が主催する「福祉・介護・健康フェア」に協力する形で、そのイベントの中で開催する新たな試みの大会となりました。



各種表彰を受けられた皆さまをご紹介します（順不同・敬称略）



◆上越市社会福祉協議会長表彰 被表彰者

●民生委員児童委員

（12年以上在籍し功績顕著な方）

梅田喜久子・川村より子・佐藤誠・岩崎直美
栗田朝子・小菅久美子・布施一郎・井部佐恵子
小山礼子・小池弘・関川直嘉・木村明子

●上越市社会福祉協議会役員

（役員・評議員で10年以上在籍し活動顕著な方）

丸山義雄

●民間社会福祉団体等役員

（10年以上在籍し、活動顕著な方）

中川侑

●ボランティア団体

（活動期間が概ね5年以上で、活動顕著な団体）
こしびき会・横町茶の間の会・野ばらの会

●ボランティア個人

（活動期間が概ね5年以上で、功績顕著な方）

秋山克・市村春蔵・鹿島安子・岡田八重子
外谷静代・丸山禮子・横田美江子・長崎千恵子
吉原勇・今井茂・市村勝子・市村利雄

◆感謝（継続的に寄付し、地域福祉の向上に貢献している団体）

一般財団法人上越市環境衛生公社

ルー大柴さんの講演会では「人生マウンテンありバレーあり」と題して、人生において大切な事、命や物の大切さなどを大きな笑いとともに参加された皆さまに届けていただきました。

また、式典では長年地域福祉に貢献された方々が、日頃の功績に対して表彰を受けられました。

ご来場いただいた皆さま、大変ありがとうございました。



ルー大柴さんの講演会の様子

「安塚区・浦川原区・大島区・牧区」における 地域包括支援センター業務を開始します！！

上越市では、平成30年度に市内の地域包括支援センターが担当する圏域が再編されることになり、上越市社会福祉協議会では「安塚区・浦川原区・大島区・牧区」圏域の地域包括支援センター運営業務を受託することになりました。

保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域における「地域包括ケア」の役割を担う中核的機関として取り組んで参ります。



保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士等の医療・福祉の専門スタッフが相談に応じます。介護の悩み、介護予防、保健福祉サービス等、どんな小さなことでも困ったことがありましたらお気軽にご相談ください。

【問合先】

浦川原地域包括支援センター ☎025-599-3872
介護サービス課 ☎025-526-1616

皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしております。

【連絡先】上越市社会福祉協議会 総務課 ☎ 025-526-1515・FAX 025-526-1230 Eメール：jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp